

【政策の柱】

【政策】

【施策】

1 次代を担い地域を支える人材の育成確保	(1)学校教育の充実	① 基礎学力と応用力を育成・向上する教育の充実 ・ 学力向上 ・ 新さんさんプランの検討 ・ 探究型学習の推進
		② 知徳体を育む教育の充実 ・ 児童生徒と向き合える環境づくり ・ 道德教育・人権教育の充実 ・ 体力・運動能力の向上、生活習慣形成の推進
		③ 社会の変化に対応して自立する力を伸ばす教育の充実 ・ 情報活用能力、外国語能力の向上 ・ 高校改革の推進 ・ 地域学校協働活動の推進
		④ 高等教育、専門的職業教育の充実
		⑤ 特別なニーズに対応した教育等の充実 ・ 特別支援教育の充実 ・ 外国人児童生徒の対応
	(2)生涯を通じた多様な学びの機会の充実	⑥ 県民や地域に活力をもたらす多様な学びの促進 ・ 地域課題の解決に向けた地域と連携した学習 ・ 文化芸術・スポーツの振興、生涯学習の推進
		(3)若者の定着・帰郷の促進
	(4)国内外の様々な人材の呼び込み	⑧ 県内大学等との連携による若者の県内進学等の促進 ・ 体験学習等を通じた中高生と大学等との連携
		⑨ 県内就業の促進 ・ 県内企業における大学生のインターンシップの受入れ促進
		⑩ 「関係人口」の創出・拡大 ・ 県外在住者に対する本県との関わりを持つ多様な機会の創出、情報発信
2 県民の希望の実現	(1)総合的な少子化対策の新展開	⑪ 若い年齢での結婚の希望の実現を後押しする取組みの強化 ・ 高校生等のライフデザイン教育の充実
	(2)県民誰もが個性や能力を発揮し、活躍できる環境の整備	⑫ 安心して妊娠・出産・子育てできる環境づくり ・ 特に支援を必要とする子どもや家庭等への支援の充実強化
3 産業経済の振興・活性化	(4)国内外からの観光・交流の拡大による地域経済の活性化	⑬ 地域の特性や魅力を活かした多様な交流の促進 ・ 県内外から多くの人が集まる文化芸術活動への支援 ・ 国内外のトップチームの合宿等の誘致
4 県民が安全・安心を実感できる社会づくり	(1)大規模災害への対応など危機管理機能の充実強化	⑭ 地域防災力の向上 ・ 地域や学校等における防災教育の充実
	(3)保健・医療・福祉の連携による「健康長寿日本」の実現	⑮ 県民一人ひとりの主体的な健康づくりの促進 ・ 子ども頃からの主体的な健康づくりの促進
	(4)多様な力の結集による地域コミュニティの維持・活性化	⑯ コミュニティを支える多様な主体の育成・活用 ・ 住民活動のリーダー人材等の育成・活用
5 未来に向けた発展基盤	(1)暮らしや産業の発展基盤となるICTなど未来技術の早期実装	⑰ ICTの積極的・効果的な利活用による県民生活等の質の向上 ・ 遠隔技術やデジタル教材の活用による教育の質の向上 ⑱ 誰もが安全にICTを利活用できる環境づくり ・ ICTに関する教育機会の充実
	(3)地域の豊かな自然と地球の環境を守る持続可能な地域づくり	⑲ 自然環境や文化資産の保全・活用・継承 ・ 文化資産の教育活動への活用、地域への愛着の深化

① 社会の変化に対応し未来を切り拓いていく力を育む教育の推進

- 子どもや若者が自らの人生を切り拓いていく力を育成するため、基礎学力と応用力を育成・向上する教育をはじめ、知徳体を育む教育を充実する。
- 国際的な視野や外国語能力、急速に発達するICTを活用する力等、時代の変化に対応した新しい能力を育成する教育を充実する。
- 地域社会や産業界のニーズを踏まえ、高校における地域と連携した特色ある教育や、専門性の高い最新の知識が集積する大学等における高度・専門的な教育を充実強化する。

② 生命の継承の大切さと共生社会の形成に関する教育の推進

- 人口減少が進む中、子どもたちが、先人から受け継いだ「生命」を、次の世代につないでいくことの大切さについて主体的に考えさせる教育を推進する。
- 多様性を尊重し、他者と協働していく力を育成するため、他人を思いやる心、生命や人権を尊重する心、正義感や公正さを重んずる心など、思いやりの心と規範意識を育む教育を推進する。
- 障がいなど様々な事情を抱える子どもたちが、社会の中で多様なつながりを持ち、いきいきと暮らしていけるよう、インクルーシブ教育システムの構築に向けた教育を充実する。
- 多様な背景・事情から学習や社会生活に困難を有する者の学びの機会の確保や居場所づくりなど、社会参加に向けた支援を充実する。

③ 郷土愛や地域社会の担い手となる心を育む教育の推進

- 郷土を学ぶ学習や、自然環境、文化財等の本県が有する資産を活用した教育活動を推進し、将来の県内定着・帰郷の動機付けとなる郷土愛や地域への理解を子どもの頃から醸成する。
- 県内大学等と連携し魅力的な学びの場を創出するとともに、中学・高校と県内大学等との連携を強化し、若者の県内進学を促進する。
- 県内の大学や産業界と連携して、県内企業への就職を促進するとともに、大卒者や女性にとって魅力ある仕事の創出・確保を進め、県外進学・就職者の県内への帰郷・定着に向けた情報発信等を強化する。

④ 学びと地域を支える教育環境の整備

- 児童生徒の多様なニーズに応えるとともに地域コミュニティの核としての役割を踏まえた活力ある学校づくりを進める。
- 教職員の資質向上を図るとともに、児童生徒と向き合う時間を創出し、効果的な教育活動を実施するため、学校における働き方改革を推進する。
- 時代の変化に対応した教育を展開するため、外国語、ICT、産業教育分野等の教育環境整備を推進する。
- 学校施設の老朽化、長寿命化対策等を推進するとともに、学校安全体制の充実を図るなど、安全・安心な教育環境・体制の整備を推進する。

⑤ 学校・家庭・地域の連携・協働による教育の充実と地域活性化の推進

- 学校・家庭・地域が連携しながら、地域をフィールドとした学びの場の創出や家庭教育支援体制の充実など、地域において子どもの成長を支え合う活動を推進する。
- 若者が地域に関わりを持ち、活躍できるよう、若者による主体的な地域づくり活動への参画や若者同士の連携・協働を促進する。

⑥ 生きがいにつながる生涯学習や文化芸術・スポーツに親しむ機会の充実

- 地域における身近な学びの場づくりの促進や、知の拠点としての県立図書館をはじめとする社会教育施設の機能の充実など、生涯学習の環境を充実する。
- 県民に喜びと安らぎを与える文化芸術と、県民に元気と感動を与えるスポーツを推進するとともに、これらを活かした多様な交流を促進する。

1 郷土愛を育む教育の推進と若者の県内定着の促進

- 県民一人ひとりの郷土愛を醸成するため、各教育段階で、郷土に関する理解を深める教育を推進する。
- 地域資源等を活かした体験・交流活動を充実する。
- 若者の多様な地域活動を促進するとともに、県内の大学や産業界と連携しながら若者の県内定着・県内帰郷を促進する。

2 生命の継承の大切さに関する教育の推進

- 子どもたちが、先人から受け継いだ「生命」を、次の世代につないでいくことの大切さについて理解を深める教育を推進する。

3 社会を生きぬく力を育む教育の推進

- 変化が激しい社会を主体的に生きぬく力を育成するため、知徳体が調和した確たる基礎を育む。
- 国内外を見つめる広い視野を持ち夢を実現しようとする意欲と能力を最大限引き出す教育を推進する。

4 安全・安心な教育環境の整備と「活力ある学校」づくりの推進

- 児童生徒が安心して学校生活を送れるよう、学校施設の耐震化など安全・安心な教育環境・体制の整備を推進する。
- 児童生徒の減少を見据えつつ、地域コミュニティの核としての役割を踏まえながら「活力ある学校」づくりを進める。

5 学校と家庭・地域の連携・協働による教育の充実と地域活性化の推進

- 家庭や地域の教育力の向上を図り、社会全体で教育を支えていく機運を醸成する。
- 学校・地域それぞれの役割を認識しながら、連系・協働による教育の充実や地域活性化に向けた取組みを促進する。

6 県民一人ひとりの能力の発揮と楽しさや生きがいにつながる文化芸術・スポーツ活動の促進

- 県民一人ひとりが能力を発揮できる機会を充実するとともに、県民に豊かな感性や創造性を涵養する文化芸術活動と、感動や元気を与えるスポーツ活動を推進する。

7 山形ならではの「自然と共生の文化」に基づく地域づくりの推進

- 美しい自然環境や多彩な地域文化・伝統など山形の宝を未来へと継承していくため、自然との共生のもと主体的に行動する人材を育成する。
- 環境や文化など地域の資産を活かした地域づくり活動を促進する。